

令和4年度 企画展

熊野道を旅する

— 齋藤彌惣兵の巡礼旅 —

主催 田辺歴史民俗資料館
会期 令和4年10月15日(土)～12月11日(日)
会場 田辺歴史民俗資料館 企画展示室(田辺市交流センター(たなべる)2階)
入館者 660名
展示解説 10月22日(土)、11月26日(土)

会場の様子

第1章 彌惣兵衛 旅立つ



江戸時代は神社仏閣への参詣が盛んに行われた時代でした。

越後国蒲原郡安田町(新潟県阿賀野市)の齋藤彌惣兵衛は、早世した母親の西国巡礼の志しを継ぎ、嘉永元年2月に西国巡礼の旅に出発しました。

第2章 伊勢から熊野道へ



江戸時代には、伊勢参りの後に熊野三山と西国三十三所一番札所的那智山西岸渡寺へ向かう巡礼者が数多くあり、その数は年間2万人前後と考えられています。

伊勢神宮に参詣した彌惣兵衛も伊勢田丸の地で西国巡礼の旅の準備を整え、一路熊野道伊勢路を南下し熊野へと向かいました。

第3章 熊野道の風景 ー中辺路の旅ー



熊野道は、江戸時代には西国三十三所観音霊場を廻る巡礼道として多くの旅行者を迎え入れました。中辺路と大辺路が分岐する田辺では、享保元年6月末の5日間に4,776人の巡礼者が宿泊した記録も残されています。

多くの旅人が行きかう中辺路で彌惣兵衛は何を見たのでしょうか。

第4章 彌惣兵衛の巡礼旅 その後 ー紀伊路の旅ー



田辺から先、熊野道は紀伊路として続いています。彌惣兵衛もまた、道成寺・得生寺などを参詣しながら北上し、藤白では鈴木屋敷を訪れ、和歌山では定番の和歌浦観光を外してまで紀州候（第12代齊彊）の初入国の行列を見物するなどいろいろと旅体験をしながら、西国三十三所観音霊場を巡る旅を続けます。

令和4年度
企画展

熊野道を旅する 齋藤彌惣兵衛の巡礼旅

令和4年 10月15日(土)
—12月11日(日)

開館時間 午前9時30分—午後5時
休館日 月曜日 - 10月27日(木)
- 11月4日(金) - 24日(木)

田辺歴史民俗資料館
企画展示室

展示解説 10月22日(土)
11月26日(土)

いざ
れら 午後1時30分から



葦石の道標



『西国道中記』(齋藤彌惣兵衛)



『西国道中記』（齋藤彌惣兵衛）



『西国三十三所巡礼絵図』

世界遺産に登録されている熊野参詣道は、平安から鎌倉時代にかけては、貴族や貴族が熊野三山に詣でる参詣道として、江戸時代には西国三十三所観音霊場を巡る巡礼道として、多くの旅行者を迎え入れました。中辺路と大辺路が分岐する田辺では、享保元年6月末の5日間に4776名の巡礼者が宿泊した記録も残されています。

享保元年（1848）2月、伊勢・西国霊場・金比羅山への巡礼の旅に出た越後国（新潟県）の齋藤彌惣兵衛は、その道中の通過地点や距離・宿泊地、宿泊料金や宿の良し悪し、参詣先の寺社の由來や名所旧跡、伝説、名物など、旅で見聞きした体験談を2冊の道中日記に詳しく記録しました。

今回の企画展では、彌惣兵衛の道中日記や当時の資料をもとに、巡礼者が見た熊野参詣道の風景を紹介します。



『奉納神社仏閣道程』（納経帳）



『御影札』



『浪花講料取巻』



お問い合わせ先 田辺市文化振興課 0739-26-9943 田辺歴史民俗資料館 0739-25-6644

田辺歴史民俗資料館

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、展覧内容が変更となる場合があります。